

おおさか元気広場通信

令和6年7月26日

令和6年7月26日金曜日、泉佐野市立第三小学校にて、第三小学校元気広場の活動が実施されました。今回は、大阪信用金庫の方々による「フラッティと学ぶお金のこと」（企業・団体プログラム）が実施されました。（※フラッティ：大阪信用金庫のイメージキャラクター）

「お金」とひとことでも・・・



泉佐野市の元気広場は、留守家庭児童会（いわゆる学童保育）と一緒にいられています（校内交流型）。この日は学年もまちまちの20名前後が参加しました。

最初に、元気広場の方から、「最近新しいお金もできたし、お金について教えてくださいに来ていただきました。」と大阪信用金庫の方が紹介され、みんなの「よろしくお願いします。」という気持ちいい挨拶で、プログラムがスタートしました。

大阪信用金庫の方からは、最初にお金の歴史について、スライドを使ってお話がありました。

お金がかつては、硬貨や紙（紙幣）ではなかったこと、また今ではキャッシュレス決済など電子マネーがすすんでいることなど、ひとことで「お金」といっても時代によってかわっていることに、みんな興味津々。「キャッシュレス決済を使ったことがある？」という質問に、1人だけ「使ったことがある」と答え、みんなびっくりしていました。



子どもも講師も、みんなが楽しい時間になりました！

お金の使い方「た〇〇」「つ〇〇」「ゆ〇〇」「ふ〇〇」って？

続いて、「もし1万円もらったらどうしますか？」と問いかけがありました。すると「必要なものを買うのにつかったら、あとは貯金します。」など、しっかりとした考えを発表する子が多くいました。

その上で『お金の使い方』の4つの方法として上の「〇〇」に入る言葉をみんなで考えました。隣や前後の人たちと相談し、「ためる」「つかう」「ゆずる」「ふやす」の4つの使い方を知りました。

「つかう」では、「おにぎり、水筒の水、ゲーム、ぬいぐるみ、レインコート・・・」などを、フラッティが冒険に行くときの、ニーズ（必要なもの）とウォンツ（ほしいもの）に分ける作業をしました。

「ゲーム機は『ニーズ』！」など考えの違いもあり、大いに盛り上がりました。

クイズがあったり、みんなで話し合ったり考えたりする場面が多く、難しくなりがちなお金についてのお話を、みんなが楽しみながら学んでいる様子がとても印象的でした。

参加した「みんな」が、楽しく学べた夏休みの一コマとなりました。

【参加した子どもたちの感想】

- ・お金を大切に使うと思った！
- ・お金を無駄に使ってはいけないことがわかった。

【大阪信用金庫の方より】

- ・参加してくれた子どもたちの反応がすごく良くて、楽しくできました。

